

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	案内板の設置	基	目標	0.00	0.00	1.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	大河ドラマ「鎌倉殿の13人」放映に伴う結城朝光のPR	事業	目標	0.00	1.00	0.00
	PR事業全般		実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	観光客数	人	目標	539,000.00	545,000.00	551,000.00
	観光入込客数		実績	320,200.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	昨今の観光客の要求の高さや、自治体間での競争を考慮すると、積極的な情報発信、基盤整備は必要不可欠である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が主体となり行うべき事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	情報の発信と発信基盤のボトムアップといった手段は直接観光客に訴求できるために妥当と考える。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	コストをかけずに誘客できればベストであるが、ある程度の初期投資は必要である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	観光客の増加が経済の活性化につながり、税収の増加につながるため、最終的な受益者は偏りが無い。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	3年度からの新規事業のため、何とも言えない。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	3年度からの新規事業のため、何とも言えない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか 観光客のニーズをつかみ、満足度を高められるよう絶えず改善を行う。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 3年度事業を一過性のものとせず、今後、改良を加えることで観光誘客のツールとして活用していく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	